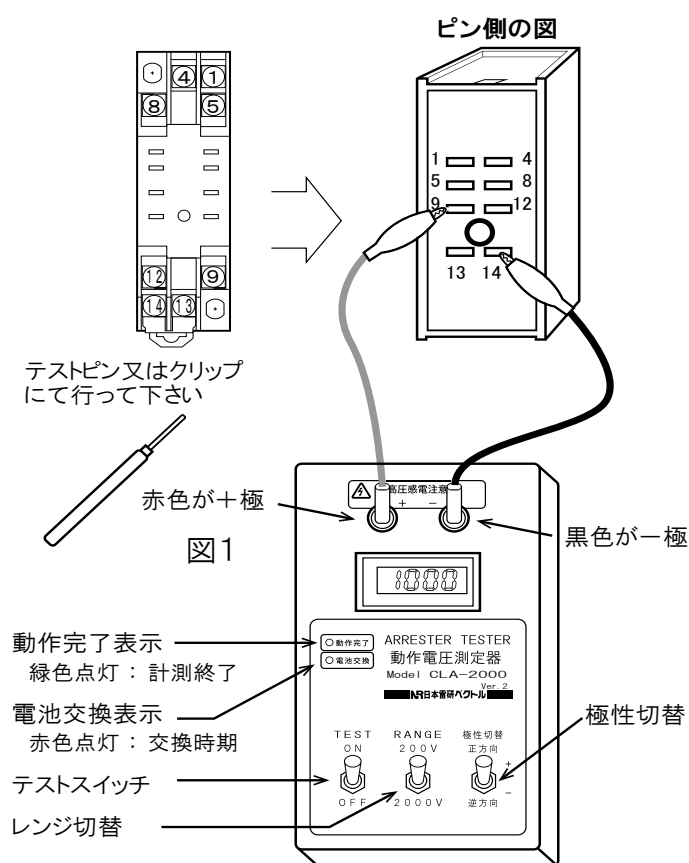


●端子配列と結線図



チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。
1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。
TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●点検前のご注意

- ① 安全のため配線されたソケットより外しておこなって下さい。
- ② 感電にご注意下さい。
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないで下さい。
- ③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。
2～3回程度おこなって下さい。

●点検後・・・新品交換待ちになった場合

- ① 劣化と判断した場合であっても電源・信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻して下さい。
交換までの雷サージ対策となります。

●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えて下さい。
- ② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にして下さい。(極性切替時使用します)
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続して下さい。
- ④ TESTスイッチをONに投入して下さい。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

<2線式データ回線用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極/ー極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード (通常)
対地間G1	L1/E	⑧/⑭	2000V	DC210 - 455V	OPEN
対地間G2	E/L1	⑭/⑧	2000V	DC210 - 455V	OPEN
線間ZD	L1/L2	⑧/⑤ ※	200V	DC75 - 91V	SHORT
シールド間Zn0	SH/E	⑨/⑭	200V	DC74 - 90V	SHORT

※ 極性切替スイッチで逆方向も確認して下さい。